

令和２年度みどりっちプラン

緑区区政運営方針

基本目標：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像 1	安心・安全で快適に暮らせるまち	1
施策 1	安心・安全で災害にも強いまち	1
施策 2	環境にやさしく快適なまち	5
施策 3	地域をつなぐ絆づくり	6
施策 4	協働によるまちづくり	8
施策 5	便利で住みよいまちづくり	10
将来像 2	子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち	11
施策 6	子どもの健やかな育ちを支えるまち	11
施策 7	人にやさしい福祉のまち	13
施策 8	健康づくりができるまち	16
将来像 3	魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち	18
施策 9	魅力の発信と観光推進	18
施策 10	歴史・伝統の継承	19
施策 11	文化・芸術・スポーツ活動の支援	19
将来像 4	親しまれ信頼される区役所づくり	21
施策 12	快適な市民サービスの提供	21
施策 13	区役所機能の強化	22



名古屋市緑区役所

将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

《成果指標》

指標	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	76.6%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	57.8%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	42.2%	48%

《令和 2 年度の具体的な取り組み内容》

施策 1 安心・安全で災害にも強いまち

「緑区から交通事故をなくそう！」キャンペーン事業を実施します 新規 (地域力推進室)
区内の高校生を対象に交通安全教室を開催します。また高校生のアイデアによる交通安全スローガン・グッズを作成し、啓発キャンペーンで活用することで、区民の皆さまの交通安全への意識の向上を図ります。
目標：交通安全スローガン・グッズを活用した啓発キャンペーンの実施回数 10 回

緑区安心・安全で快適なまちづくり協議会を中心としたまちづくりを推進します (地域力推進室、保健センター、緑警察署、緑消防署、緑環境事業所、緑土木事務所)
安心・安全で快適なまちづくり推進のため、警察などの関係機関や地域の皆さまと連携した犯罪・事故防止の対策・啓発キャンペーンの実施とともに、消防など関係機関と連携して空地・空家の適正な管理の促進などに取り組みます。
目標：アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95% (元年度実績 97%)

放火されない環境づくりを推進します (緑消防署)
火災原因の多くを占める放火火災に対して、地域の皆さまと協力して「放火防止パトロール」や「放火防止キャンペーン」を行い、区民の皆さま一人ひとりの放火防止に対する意識強化を図るとともに、地域ぐるみで放火されない環境づくりに取り組みます。
目標：パトロール及びキャンペーンの実施 3 回 (元年度実績 キャンペーン 1 回 パトロール 2 回)

緑市民病院から特殊詐欺被害の防止について啓発します（緑市民病院、緑警察署） 電話をかけながら院内の現金自動預払機（ATM）を利用する方へのお声がけや、院内各所に設置してあるデジタルサイネージ（院内情報モニター）を活用して、警察本部や緑警察署から寄せられた詐欺被害等に遭わないための情報動画放映を昨年から引き続き行います。 また、警察官を招いて年に数回行っている、院内での防犯キャンペーン活動や市民健康講座内でのミニ講座も継続していきます。
目標：警察官を招いての講座の実施 毎月1回（元年度実績 毎月1回） 院内での防犯キャンペーン 年2回（元年度実績 年2回）

災害時における共助のしくみづくりを推進します（総務課、緑消防署） 大規模災害による人的被害を最小限にするために「安否確認札」をモデル町内会・自治会の各世帯に配布し、発災直後を想定した安否確認訓練を行います。また、災害時に配慮を要する方の避難を考えるワークショップを開催し、共助のしくみづくりを推進します。
目標：災害時に配慮を要する方の避難を考えるワークショップ（M-LODE）の開催 1回（元年度実績：新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

大規模災害に備え各種防災訓練を実施します 区役所（総務課）、緑消防署はじめ各公所(署) 南海トラフ巨大地震や風水害に備え、各種防災訓練を実施します。地域特性や地域のニーズに応じた実効的な訓練を実施するために、地区防災カルテを活用したり、要配慮者への視点を取り入れたりするなど、地域や防災関係機関、各種団体などと協働して、防災意識の向上と地域防災力の強化を図ります。																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練名</th><th>開催日</th><th>訓練会場</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合水防訓練</td><td>5月31日（日）中止</td><td>鳴子小学校、新海池公園</td></tr> <tr> <td>総合防災訓練</td><td>9月6日（日）</td><td>片平小学校</td></tr> <tr> <td>宿泊型避難所開設訓練</td><td>9月26日（土）～27日（日）</td><td>熊の前小学校</td></tr> <tr> <td>全学区避難所開設訓練</td><td>7月～10月</td><td>区内28学区</td></tr> </tbody> </table>	訓練名	開催日	訓練会場	総合水防訓練	5月31日（日）中止	鳴子小学校、新海池公園	総合防災訓練	9月6日（日）	片平小学校	宿泊型避難所開設訓練	9月26日（土）～27日（日）	熊の前小学校	全学区避難所開設訓練	7月～10月	区内28学区		
訓練名	開催日	訓練会場															
総合水防訓練	5月31日（日）中止	鳴子小学校、新海池公園															
総合防災訓練	9月6日（日）	片平小学校															
宿泊型避難所開設訓練	9月26日（土）～27日（日）	熊の前小学校															
全学区避難所開設訓練	7月～10月	区内28学区															
目標：各訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%（元年度実績 94%）																	

地区防災カルテを活用した地域防災活動を推進します（総務課、緑消防署）
地域の皆さまが自主的・主体的に地域の防災について考え、活動できるように地区防災カルテを活用した話し合いを実施し、区署が連携し地域防災活動を支援します。
目標：地区防災カルテを活用した話し合いの新規取組学区 8学区 （元年度実績 10 学区）

緑区防災フェスタを開催します（区役所（総務課）はじめ各公所(署)）
日常的な備えや災害時に役立つ様々な知識を楽しみながら学ぶことができる体験型プログラムが豊富な防災・減災イベント「緑区防災フェスタ」を 11 月 7 日（土）に区役所において開催します。
目標：来場者アンケートにおいて、「今後も参加したい」方の割合 95% （元年度実績 95%）

親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を開催します（総務課）
防災訓練などに参加しづらい環境にある子育て世代の自助力向上を図るため、子どもと一緒に楽しみながら防災・減災について学べる親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を、名古屋みどり災害ボランティアネットワークとの共催により実施します。
目標：来場者アンケートにおいて、「今後も参加したい」と答えた方の割合 90% （元年度実績：新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

防災に関する講座を行います（緑生涯学習センター）
区民の防災意識啓発のため防災に関する講座を、緑区社会福祉協議会をはじめ、関係機関やボランティアグループと連携して実施します。 <u>中止</u>
目標：防災に関する講座、事業の開催 5 回（元年度実績 5 回）

健康危機管理サポーターの自主化を支援します（保健センター）
健康危機管理サポーター※の自主化を支援していきます。また、健康危機管理サポーターのフォローアップを兼ねた「健康危機管理ステップアップ講座」を開催します。 ※ 健康危機管理サポーター：避難所で健康管理などの活動をするボランティア
目標：健康危機管理ステップアップ講座 2 回（元年度実績 3 回）

災害ボランティアセンターの開設及び運営訓練を実施します （社会福祉協議会、総務課）
大規模災害発生時、ボランティア活動が円滑に展開し、被災者支援や復旧活動がすみやかにできるよう、緑区社会福祉協議会、名古屋みどり災害ボランティアネットワーク、区役所の協働により、災害ボランティアセンター開設及び運営訓練を実施します。
目標：参加者数 60 人（元年度実績 40 人）

消防団員の確保を支援します （緑消防署）
南海トラフ巨大地震や近年多発している豪雨災害に対応するため、消防団員の充足率向上を図る必要があります。そのため、各種行事などを通じて積極的に消防団員募集広報を行い、消防団員の確保に努めます。
目標：緑区消防団員 600 名確保（令和 2 年 3 月 31 日現在の実員 536 名）

区民一人ひとりの防災力の向上を図ります （緑消防署）
南海トラフを震源とする巨大地震などによる被害は、十分な震災対策を行えば大幅に軽減できるとされています。区民の皆さま一人ひとりに対し、住宅の耐震化や家具などの転倒防止、食料品の備蓄など、事前に備えることの重要性を様々な機会を利用して積極的に啓発します。
目標：戸別訪問による啓発活動 5 学区（元年度実績 1 学区 ※モデル実施） 防災教室等による啓発活動 60 回（元年度実績 53 回）

事業所と地域との支援協力体制を推進します （緑消防署）
地震や台風などの大規模災害時には、事業所と地域の住民との一体的応急活動が必要です。このため、区内の事業所が所有する建物、土地、資器材などを地域住民の方々が活用できるよう、事業所と地域双方の協力体制の構築を支援します。
目標：支援協力に関する覚書の締結 85 事業所（元年度締結 82 事業所）

災害活動の迅速な対応をめざし、名水協との連携強化を図ります （上下水道局緑営業所）
災害時に名古屋市指定水道工事店協同組合（名水協）の協力を得ることで応急給水をはじめとする災害活動の迅速化が図れるよう、防災訓練などを通じて名水協緑支部との連携体制を強化します。

施策2 環境にやさしく快適なまち

緑区クリーンキャンペーン・なごや2020を実施します (地域力推進室、保健センター、緑環境事業所、緑土木事務所)
まちの美化を推進するため、地域と行政が協働して清掃を行う、「緑区クリーンキャンペーン・なごや2020」を6月6日(土)を中心に開催します。中止
目標：メイン会場参加者アンケートにおいて、「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合 95% (元年度実績 98%)

緑区環境バザーを開催します (地域力推進室、緑環境事業所)
リユースに対する意識を高めるため、区内の女性団体が中心となり、5月23日(土)に区役所講堂において「緑区環境バザー」を開催します。中止
目標：売上品数 1,800 点 (元年度実績 1,724 点)

環境デーなごや2020in みどりを開催します (緑生涯学習センター)
本市の環境デーなごや事業の一環として、いつまでも豊かな環境を守っていかうとする意識を高めるため、環境保全などに関する活動をしている方を講師とし、体験を通して環境の大切さや素晴らしさを学ぶことができるような事業を開催します。中止
目標：参加者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 95% (元年度実績 100%)

地域環境イベントを開催します (緑環境事業所、南東部公害対策担当)
ごみ問題や地球温暖化対策など、環境問題に関心を持つきっかけとするため、6月(予定)に「地域環境イベント」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくり・人の輪づくりを推進します。中止
目標：参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95% (元年度実績 100%)

資源・ごみの分別推進に取り組みます (緑環境事業所)
6月、11月の分別マナーアップ推進月間をはじめとして様々な機会をとらえ、資源とごみの分別の徹底を呼びかけ、ごみ減量や再資源化の取り組みを推進し、さらなるごみ減量をめざします。

ペットの愛護と適正な飼育の普及啓発を行います（保健センター）
快適なまちづくり実現のため、ペットの愛護について普及啓発するとともに、犬猫の適正飼育、マナー向上の啓発活動を実施します。また、災害発生時におけるペットの災害対策についても普及啓発します。
目標：ペットに関する啓発活動・講座の開催 5 回 （元年度実績 ペットに関する啓発活動・講座の開催 5 回）

施策 3 地域をつなぐ絆づくり

町内会・自治会への加入を促進します（地域力推進室）
町内会・自治会加入促進のため、区役所・支所への「みどりっちポスト（町内会・自治会加入申込受付ポスト）」の設置、加入促進リーフレットの学区行事や各種キャンペーンでの配布、関係公所と連携した転入・転居世帯への配布に取り組みます。
目標：学区行事や各種キャンペーンでのリーフレット頒布 10 回（元年度実績 10 回）

緑区区民まつりを開催します（地域力推進室）
ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、10月24日（土）に大高緑地において「緑区区民まつり」を開催します。緑区の魅力を発信するとともに、区民の皆さまのふれあいと交流の場として地域の絆・連携を深めます。
目標：来場者アンケートにおいて、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95%（元年度実績 99%）

緑生涯学習センターまつりを開催します（緑生涯学習センター）
緑生涯学習センターを利用している自主学習グループ相互の交流と日頃の学習成果発表の場の提供を目的とした「緑生涯学習センターまつり」を、11月7日（土）及び11月8日（日）に開催します。
目標：来場者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 95% （元年度実績 97%）

徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）
どなたでも気軽に参加していただける地域のおまつりを目標に、緑区で活躍のボランティアなどにご協力いただき、「徳重地区会館まつり（ユメリア徳重１０周年記念）」を１１月１５日（日）に開催します。 体育室での地区会館ご利用のお客様による発表会やミニゲームなど、様々な年代の方が参加できるおまつりを目指します。
目標：参加者 1,100 人（元年度実績 1,000 人） 参加者アンケートにおいて、「満足」と答えた方の割合 95% （元年度実績 95%）

徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）
アンケート結果を参考にして、様々な性別、年代の方に参加していただける事業を計画し、実施します。
目標：参加者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 95% （元年度実績 90%）

ユメリア徳重１０周年記念合唱祭を開催します 新規 （緑文化小劇場、支所）
ユメリア徳重１０周年を記念して、１２月１２日（土）に地元中学校による合唱及び地元のオペラ歌手による演奏をお届けし、地域の絆を深めます。
目標：来場者アンケートにおいて、「良かった」と答えた方の割合 85%

ユメリア徳重１０周年イベントを開催します 新規 （徳重図書館）
ユメリア徳重１０周年を記念して、区民の皆さまの読書活動の活性化を図るため、「図書館司書によるおはなし会」や「万華鏡を作ろう！」という工作会等イベントを実施します。調査研究をはじめ芸術や文学の鑑賞など図書館資料を活用していただくとともに、地域への愛着と絆づくりを図ります。

区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）
新鮮な野菜や果物を扱う直売所や朝市での会話を通じて、区民が区内の農家と交流を深めていただくとともに、「地産地消」を推進するための取り組みを、７月から９月にかけて実施します。
目標：ハガキの有効応募件数 400 件（元年度実績 400 件）

人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進室）
市民一人ひとりの人権が尊重され、互いの個性を認めあい支えあうまちづくりをすすめていくため、複雑化・多様化する様々な分野の人権問題を、市民一人ひとりが自らの問題として気付き、学び、行動できるようにするための講座・事業を開催します。
目標：人権に関する講座・事業の開催 6 回（元年度実績 7 回）

施策 4 協働によるまちづくり

ユメリア徳重 10 周年を契機に協働のまちづくりをすすめます 新規 （支所、徳重図書館、徳重地区会館、緑文化小劇場）
ユメリア徳重 10 周年を契機に、各種イベントおよび魅力発見ワークショップを実施し、区民と共に地域への愛着を深め絆づくりをめざします。また、区民プラザを誰もがより気軽に集える空間にリニューアルします。 【区の特性に応じたまちづくり事業】

花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進室）
花と緑のまちづくりを推進するため、花水緑の会とともに「花・水・緑の公園通り」における花植え・緑化活動を継続します。また、各種イベントでの花植え・緑化活動の PR に取り組みます。
目標：イベントなどでのアンケートにおいて、「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%（元年度実績 96%）

区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）
地域住民の憩いと集いの場であるユメリア徳重内の区民プラザを安心・安全・快適な空間とするため、地元ボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」が取り組む施設の案内・見守りや情報紙の発行などの活動を支援します。
目標：案内・見守り活動 1 週間あたり 8 回（元年度実績 9 回）

地域におけるボランティア活動を推進します（緑区社会福祉協議会）
ボランティア情報の発信について充実を図るとともに、イベントや講座などボランティア活動を知ってもらう場を設け、幅広い人が気軽にボランティアに参加できるよう努めます。
目標：ボランティア調整件数 110 件（元年度実績 86 件）

ボランティア団体の竹林整備事業を支援します（みどりが丘公園事務所）
公園の緑や環境の保全を目的に、なごやの森づくり活動団体「なごや竹和会」の竹林整備活動をサポートします。また、みどりが丘公園会館で開催される「なごや竹和会」主催の各種体験教室（竹材活用講座・園芸教室・竹細工教室など）も支援します。
目標：竹林整備 9 回（元年度実績 9 回） 体験教室 9 回（元年度実績 8 回）

施策5 便利で住みよいまち

道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）

機能的な都市活動と安心で安全な市民生活を確保するため、都市計画道路の整備をすすめます。桶狭間勅使線、熊野豊明線、敷田大久伝線、古鳴海停車場線、水主ヶ池線などについて、用地の取得をすすめるとともに、道路の整備を行います。

また、みどりが丘公園は、引き続き用地の取得などをすすめます。

市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所、地域力推進室）

鳴海駅前では、駅北部のA・B工区において地区を活性化する施設建築物の早期建築をめざし、市街地再開発事業をすすめます。また、事業完了後の姿を見据えたまちづくりについて、地域住民の意見を踏まえて関係機関と連携します。大高駅前では、生活環境の改善と防災性の向上を図るため、土地区画整理事業と大高町線街路事業をすすめます。有松地区では、交通利便性の向上を図るため、敷田大久伝線道路事業をすすめます。



誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）

通勤、通学、買い物など、区民の皆さまの日常生活を支える重要な交通手段としての役割を担っている市バスが、どなたにも安心してご利用になれるよう、より安全で確実な運行に努めます。

将来像 2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいき と暮らせるまち

《成果指標》

指標	直近の 現状値	目標値 令和5年度
子育てしやすいまちだと思う人の割合	84.9%	86%
生きがいや楽しみを持って生活していると 感じている高齢者の割合	78.3%	80%
健康寿命	男性 80.50 年 女性 84.60 年	平均寿命の 延びを上回 るよう延伸

《令和2年度の具体的な取り組み内容》

施策 6 子ども・高齢者・障害者の健やかな育ちを支えるまち

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）と連携して子育て支援を推進します。 新規 （民生子ども課）
UR都市機構との包括協定※にもとづき、子どもの健やかな育ちを支えるまちづくりをすすめるため、保育所等の設置について連携協力します。 （※包括協定：緑区とUR都市機構は、平成27年12月、人にやさしい福祉・保健のまちづくりに関することなど、幅広い分野で協力していくための協定を締結している。）

児童虐待を防止します （民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会）
児童虐待を防止するため、学校、保育所、幼稚園、児童委員のほか、日頃から児童に接する機会の多い団体などと連携して早期発見・早期対応し、支援を要する児童や家庭への援助を行います。また、5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に講座を開催するなど啓発活動に取り組みます。

みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します （民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館）
子育ての悩みや孤立などが解消されるよう、各年代（乳児から小学生）の子を持つ親に対して、関係機関・団体が連携し、子育て知識の習得や仲間づくりなどに役立つ様々な講座を企画・開催します。また、共同でチラシを作成してPRします。
目標：各講座アンケートにおいて、「参加してよかった」と答えた方の割合 95% （元年度実績 100%）

多様なニーズに応じた子育てを支援します （保健センター）
子どもの発達に心配を持つ親や、高年妊産婦など、多様化するニーズに対応した子育て教室を開催し、子育てを支援します。
目標：発達が心配な幼児と親対象の「子育て教室」の開催 8回（元年度実績 8回）

子どもの事故予防・救急法教室を開催します （保健センター、緑消防署）
子どもの死因上位が“不慮の事故”のため、親や周囲の大人が事故予防や“揺さぶられ症候群”の予防・救急法・心肺蘇生法を学び、子供の命を守ることができるよう「子どもの事故予防・救急法教室」等を開催します。
目標：「子どもの事故予防・救急法教室」実施回数 40回 520人 （元年度実績 52回 666人）

「赤ちゃんまつり」を支援します （民生子ども課）
子育てファミリーが楽しみながら、子育てに役立つ情報を見て、聞いて、相談できるよう、区内の子育て支援団体、民生委員児童委員、関係機関が実施する「赤ちゃんまつり」を支援します。

子ども会の支援及び子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します （民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館）
子どもが豊かに育つ地域づくりをめざして、民生委員児童委員やNPOと協働し、子どもの遊び場・地域の交流の場としての「プレーパーク」を区内3か所で定期開催します。また、区内の「子ども会」に対し、加入促進を含めた支援を行います。
目標：大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区でのプレーパークの開催毎月1回 （元年度実績 大高南・鳴子・鳴海東部地区での開催毎月1回）

子育て世代に向けたシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します 拡充 (緑文化小劇場)
地域の子どもたちが文化芸術に触れる機会を提供します。今年度から、子どもたちの創造性やコミュニケーション能力を育むため、コンテンポラリーダンスの創作ワークショップ及び創作作品を発表する公演の開催を新しくシリーズラインナップに加えます。
目標：来場者アンケートにおいて、「良かった」と答えた方の割合 98% (元年度実績 96%)

子ども読書活動を推進します (緑図書館、徳重図書館、保健センター)
乳幼児が成長過程で読書に親しみ、図書館へ通うきっかけ作りの活動に取り組みます。「はじめての本との出会い事業」として、保健センター及び徳重分室での健康診査の待ち時間を利用して、絵本の紹介や読み聞かせをボランティアの方と協力して実施します。

施策7 人にやさしい福祉のまち

緑区地域包括ケア推進プラン2019を推進します 拡充 (福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、大学等関係機関)
「緑区地域包括ケア推進プラン2019」(2023年度まで)に基づき、医療・保健・福祉・介護の関係機関との連携を図り、きらきらマン体操による健康づくりの推進や講演会の開催などによる区民への広報、緑区あんしんカードによる見守り支援など、地域包括ケアシステムを推進します。

あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします 新規 (福祉課、支所、社会福祉協議会)
地域包括ケアシステムをより広く区民に周知するため、孤立防止・見守り支援についての専門家による講演会を開催し、併せて関係機関や地域団体などによる日ごろの活動や現状について報告するシンポジウムを開催します。
目標：参加者数 400人

「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します 拡充 (福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)
高齢者の孤立防止のため、民生委員や老人クラブの見守り活動を支援するとともに、かかりつけ医などの連絡先を記載した「緑区あんしんカード」を、学区を拡大してひとり暮らし高齢者等に配布し、平常時や緊急時に役立てます。
目標：「緑区あんしんカード」2,300 枚配布（元年度実績 3,200 枚）

認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします (福祉課、支所、いきいき支援センター、保健センター)
認知症の方をサポートする「認知症の方にやさしい店」の登録拡大や、本人や家族同士が情報交換できる「認知症カフェ」推進のほか脳活体操を広める「脳活体操リーダー」の活動を支援します。
目標：認知症の方にやさしい店の登録拡大 10 か所（元年度実績 登録拡大 11 か所）

介護予防に活発に取り組む地域づくりをめざします (保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会)
健康寿命の延伸のために、若いころから健康づくりに取り組める地域をめざして、“子供から大人までみんなにきらきら輝いてほしい”という思いが込められた緑区オリジナルの「きらきらマン体操」(YouTube 掲載中) の普及に努めます。
目標：きらきらマン体操の実施回数 30 回、参加者数 800 人（元年度実績 1,537 人）

在宅医療・介護連携の推進に努めます（保健センター、はち丸在宅支援センター）
医療や介護が必要になっても、安心して地域で暮らせるよう、各地域に出向いて小規模な講座を実施し、在宅医療についての情報を発信します。また、専門職向け研修会を開催し、多職種間の連携の推進に努めます。
目標：地域出張講座 5 回（元年度実績 3 回）

地域支えあい活動を支援します（緑区社会福祉協議会）
地域における高齢者等のちょっとした困りごとを、「ご近所ボランティア」の協力で解決する取組である「地域支えあい事業」をすすめます。
目標：地域支えあい事業新規実施学区 1 学区（元年度実績 新規実施 0 学区）

地域福祉活動の拠点づくりを支援します （緑区社会福祉協議会、福祉課、支所、保健センター）
緑区在宅サービスセンターを拠点とし、保健・医療・福祉のサービスを提供する関係機関や団体との連絡、連携体制を整え、地域の課題を解決していくための機会や場づくりをすすめます。
老人クラブへの加入を促進します （福祉課）
老人クラブの魅力や意義を広く周知するため、区役所などのモニターや独自に作成したチラシを多くの高齢者が集まる行事で配布するほか、楽しく活動する様子を緑区みどりっちフェイスブックで発信するなど、老人クラブへの加入をすすめます。
目標：加入促進チラシの配布 1,000 部（元年度実績 1,040 部）
緑区自立支援連絡協議会の活動を通して障害のある方がいきいきと暮らせるまちをめざします （福祉課、民生子ども課、支所、保健センター）
障害者及び家族、福祉事業者、関係団体と行政機関で構成する「緑区自立支援連絡協議会」を中心に、権利擁護（差別解消、虐待防止）や防災対策など様々な課題に関する啓発、相互連携をすすめます。 障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざします。
障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します （保健センター）
障害児や医療的ケアが必要な児を育てる親のグループなどに、保健センター施設の無償貸出、保健師の参加、講演・交流会の開催により障害児が地域で健やかに育つよう支援します。
目標：講演会、交流会の開催 年2回（元年度実績 年3回）
授産製品の販売を支援します <u>拡充</u> （福祉課、支所）
障害者の就労を支援し、障害への区民理解を深めるため、区役所・ユメリア徳重内において展示販売コーナー「みどり福祉の店」を設置するほか、新たに区役所内PRコーナーにおいて製品実物（食品系はサンプル）を展示するほか、区ウェブサイトへの販売予定の掲載など、授産製品の販売を支援します。
目標：展示販売コーナーの設置 320 回（元年度実績 291 回）

「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します (福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター)
障害の有無にかかわらず、お互いを理解しあい、共に生きる地域社会をめざすため、緑区自立支援連絡協議会主催による「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します。
目標：参加者アンケートにおいて、「満足した」と答えた方の割合 90% (元年度実績 第1部(座談会) 84%、第2部(交流会) 100%)

障害のある方のお口を《歯援(支援)》します (保健センター)
障害者のための施設職員や地域の歯科衛生士等を対象に、障害のある方の口腔ケアへの理解を深めるために、障害者歯科医療に関する講習会を実施します。
目標：講習会 2回開催(元年度実績 2回開催)

施策8 健康づくりができるまち

ノロウィルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します(保健センター)
ノロウィルスなどの感染症は、適切な初発対応や日々の環境整備、健康管理などにより集団感染を防ぐことができます。令和2年度は老人保健施設や特別養護老人ホーム、小学校を対象に巡回指導を行います。
目標：巡回指導の実施 対象施設 15か所(老人保健施設等 10か所、小学校5か所) (元年度実績 16か所)

被保護者の健康管理支援事業を実施します (保健センター、民生子ども課、支所)
市が実施する健康診査の結果に基づき、保健センターの保健師・管理栄養士などと区役所が連携し、被保護者の方の健康管理支援を行い、生活習慣病予防と自立促進に取り組めます。
目標：事業終了後に実施するアンケートにおいて、「健康を意識するようになった」と答えた方の割合 85%(元年度実績 86.4%)

健康志向のコミュニティづくりをめざします 新規 (保健センター)
ポールウォーキング(※)講座の開催、ポールの貸出しやウォーキングマップの作成により、ポールウォーキングを推進して区民の誰もが楽しんで健康づくりに取り組むことができるコミュニティをめざします。 (※ポールウォーキング：2本のポールを持って歩くことで高い運動効果が得られる。)
目標：ポールウォーキング講座 10回

区民向けロコモティブシンドローム予防教室を開催します（保健センター）
若いころのからの健康づくりのため、子育て中のママを対象とした親子参加の教室などを開催します。また引き続き保健環境委員と協働し講座を開催し、地域への普及啓発に取り組みます。
目標：区民向けロコモ予防教室の開催 3コース（元年度実績 3コース）

区内各所にスポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター）
区民の健康維持・増進、意識的に体を動かすなど運動の習慣化を目的としスポーツ指導者を派遣します。
目標：実施回数 8回（元年度実績 9回）

市民向け健康講座を実施します（緑市民病院）
生活習慣病の発症や重症化を予防するため、病気の予防法や健康管理方法などについて健康講座を実施し、区民の皆さまの健康を保持し、増進する役割を担います。また認知症に対する理解及び認知症予防対策の普及啓発に努めます。
目標：健康講座の実施 毎月1回（元年度実績 毎月1回）

将来像 3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

《成果指標》

指標	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
緑区の魅力や歴史・文化で区外の人に紹介したいものがある人の割合	47.8%	65%
週 1 回以上の頻度で運動・スポーツを実施する人の割合	39.0%	48%

《令和 2 年度の具体的な取り組み内容》

施策 9 魅力の発信と観光推進

緑区の魅力を発信します 拡充 （地域力推進室、企画経理室）
緑区の豊富な魅力を多角的に発信するため、緑区観光推進協議会において、写真コンテスト・写真展、映像制作講座、プロモーション映像を用いた広報を新たに実施します。 【区の特性に応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】 また、緑区の魅力をまとめた冊子「緑区魅力発見・まるっと発信！」により、区民の皆さまが地域の誇りと愛着を感じられるよう、さまざまな魅力を広く区内外に発信します。

「みどりっち」を活用して緑区を PR します（地域力推進室）
区民の皆さまの緑区への愛着を高めるとともに、緑区の魅力を効果的に PR するため、緑区のマスコットキャラクターである「みどりっち」を積極的に活用します。 目標：アンケートにおいて、「みどりっち」を知っている方の割合 95% （元年度実績 93%）

緑区観光推進協議会の活動を推進します（地域力推進室）
緑区をおもてなしの心にあふれ、魅力ある観光地域として発展させていくため、緑区観光推進協議会の活動として、観光スポット・散策コースなどをまとめた「あちこちマップ」の活用や観光 PR キャンペーンの実施、観光ボランティアガイドの育成などを推進します。 目標：観光 PR キャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度 95%（元年度実績 94%）

施策 10 歴史・伝統の継承

歴史文化交流支援事業を推進します（地域力推進室）
緑区の歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、区民の皆さまが地域への愛着を深められるよう、緑区ルネッサンスフォーラムとともに史跡散策会や歴史イベントなどを実施します。
目標：参加者アンケートにおいて、「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95%（元年度実績 97%）

区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）
緑区への関心をより一層高め、多くの方が緑区に愛着を感じ、誇りを感じることができるよう、緑区の歴史や文化、自然にちなんだ内容など緑区の魅力を学んだり、子育てや高齢者支援などまちづくりに関わる人が育ったりする講座を開催します。
目標：緑区の特徴を活かした講座の開催 6 講座（元年度実績 6 講座）

伝統野菜である「大高菜」の普及やPRを図ります （東部・緑農政課、緑生涯学習センター）
あいちの伝統野菜である「大高菜」の普及・PRを図るため、区民まつりや区役所・支所等での種子配布や区役所玄関前における展示栽培を行います。また、緑生涯学習センターと共催で大高菜を使った料理教室も開催します。
目標：大高菜の種子配布 800 人（元年度実績 800 人）

施策 11 文化・芸術・スポーツ活動の支援

緑区民美術展を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の創作活動の成果を発表していただくとともに、芸術への関心を深めるため、緑区文化協会と連携して区役所講堂において「緑区民美術展」を9月18日（金）から9月20日（日）まで開催します。
目標：来場者アンケートにおいて、「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 96%（元年度実績 98%）

緑区民舞台発表会を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の練習の成果を発表していただく場を提供するため、区役所講堂において「緑区民舞台発表会」を1月16日（土）に開催します（12月19日（土）から変更になりました）。
目標：出場者アンケートにおいて、「出てよかったと思った」と答えた方の割合 90%（元年度実績 80%）

緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）
劇場練習室を利用する文化団体に発表の場を提供し、活動を支援するとともに、団体同士の交流の場を創出するため、文化祭「緑フェスタ」を開催します。地域の方々が気軽に立ち寄れるように、フリーマーケットや屋台の出店を行います。
目標：来場者アンケートにおいて、「良かった」と答えた方の割合 95% （元年度実績 90%）

地域劇団「劇団みどり」の活動を支援します（緑文化小劇場）
劇場ワークショップ発の「劇団みどり」の活動を支援します。今年度は結成 10 周年の記念公演を開催します。劇団が地域の新しいコミュニティとなり、地域に活力をもたらすとともに、地域の方々が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に貢献します。
目標：来場者アンケートにおいて、「良かった」と答えた方の割合 75% （元年度実績 67%）

生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進室）
子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が、気軽にスポーツに親しむことができるよう、グラウンド・ゴルフ大会、軟式野球大会、歩け運動の会、レク・バレー大会、剣道大会、学区対抗駅伝大会など各種スポーツ大会を開催します。
目標：スポーツ大会の総参加者数 3,600 人（元年度実績 2,454 人）

将来像 4 親しまれ信頼される区役所づくり

《成果指標》

指標	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
窓口アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた人の割合	96.9%	100%
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う人の割合	37.0%	45%

《令和 2 年度の具体的な取り組み内容》

施策 1 2 快適な市民サービスの提供

フロアサービスを実施します（区役所（総務課）、支所）
お客さまの円滑な諸手続きのため、フロアサービス員を配置し、窓口案内などを行います。

日曜窓口を実施します （総務課、市民課、民生子ども課、福祉課、保険年金課、支所、税務窓口）
お客さまの利便性向上のため、原則として毎月第 1 日曜日の午前 8 時 45 分から正午まで、住民票の異動及びこれに付随して生じる各種の届出、税務証明の交付について窓口業務を行います。

【開庁日】

令和 2 年

4月		5月	6月	7月
5	12	10	7	5
8月	9月	10月	11月	12月
2	13	4	1	6

※実施日は、やむを得ず変更または中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

令和 3 年

1月	2月	3月
10	7	7 21 28

区民に分かりやすい福祉窓口とします 新規 （福祉課、支所、保健センター）
区民によりわかりやすく、利用しやすい福祉窓口とするため、精神障害・難病等の福祉制度利用に関する業務を保健センターから区役所福祉課及び支所区民福祉課に移管します。また、区役所福祉課を高齢福祉業務を実施する係と障害福祉業務を実施する係の 2 係体制に再編します。

お誕生オリジナルお祝いカードをプレゼントします（市民課、支所）
窓口に出生届をご提出されたお客さまに、お子さまの健やかな成長の願いを込めて、これから必要となる手続き及び子育て相談や子育て支援制度のご案内を兼ねた緑区オリジナルのお祝いカードを進呈します。

「更生保護サポートセンター みどり」の活動を支援します（総務課）
保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら、犯罪や非行のない明るい社会を作るため、更生保護活動の拠点として、緑区役所内に設置した「更生保護サポートセンター みどり」の活動を引き続き支援します。

区民意見を区政に反映させます（企画経理室）
区民意見を区政に反映するために、みどりっちプラン（案）に対する意見募集、区民アンケートなどによる事後評価及び区政全般に関わる事項を議論する「緑区区民会議」などを開催します。
目標：区民アンケートにおいて、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合 65%（元年度実績 62%）

広報・情報提供の多様化を図ります（地域力推進室、総務課、企画経理室）
区ホームページのほか、フェイスブックなどを活用し、インターネット上の広報の充実を図ります。また、新聞やテレビなどの広報媒体を利用した情報発信にも積極的に取り組みます。

施策 1 3 区役所機能の強化

避難所開設訓練に職員が参加し災害対応能力を伸ばします（総務課）
職員の災害対応能力を向上させるために、各学区の担当職員をあらかじめ定め、地域の皆さまとともに避難所開設訓練に参加します。
目標：アンケートにおいて、「理解が深まった」と答えた職員の割合 90%（元年度実績 89%）

職員の能力向上を図ります（総務課、企画経理室）
市民満足度の向上のため、接遇・経理事務などの職員研修や様々な課の若手職員が協力して業務改善に取り組むオフサイトミーティングなどを実施します。
目標：アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた方の割合 97%（元年度実績 97.6%）

《令和2年度自主的・主体的な区政運営予算執行計画》

区役所が自主性・主体性を発揮した取り組みを行うための予算として、令和元年度は人口規模等を勘案して、11,017,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

1 安心・安全で快適に暮らせるまち

金額 7,079,000円

- ・「緑区から交通事故をなくそう！」キャンペーン事業を実施します
- ・災害時における共助のしくみづくりを推進します
- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい」を開催します
- ・健康危機管理サポーターのリーダーを育成します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・ユメリア徳重10周年を契機に協働のまちづくりをすすめます
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち

金額 2,768,000円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子ども会の支援及び子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します
- ・「あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・障害のある方のお口を《歯援（支援）》します
- ・健康志向のコミュニティづくりを目指します

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

金額 611,000円

- ・緑区観光推進協議会の活動を推進します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり

金額 559,000円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 11,017,000円

《令和2年度区の特성에応じたまちづくり事業執行計画》

- | | |
|-----------------------------|------------|
| ・ユメリア徳重10周年を契機とした絆と協働のまちづくり | 1,198,000円 |
| ・緑区魅力発信事業2020 | 1,840,000円 |

《令和元年度自主的・主体的な区政運営予算執行実績》

1 安心・安全で快適に暮らせるまち 金額 6,768,627円

- ・災害時における共助のしくみづくりを推進します
- ・海拔表示版を更新します
- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい」を開催します
- ・健康危機管理サポーターのリーダーを育成します
- ・ペットの愛護と適正な飼育の普及啓発を行います
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち 金額 2,170,909円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します
- ・「あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止・生活支援を強化します
- ・認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします
- ・障害児を育てる親のグループなどへの活動支援事業を実施します
- ・障害のある方のお口を《歯援（支援）》します
- ・ノロウィルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち 金額 952,000円

- ・緑区観光推進協議会の活動を推進します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり 金額 546,075円

- ・区政運営方針を策定し、区政の重点的な取り組みをお知らせします

合計 10,437,611円

《令和元年度区の特성에応じたまちづくり事業執行実績》

・大切な子どもの命を守る啓発講座	789,592円
・緑区プロモーション映像の制作	4,000,000円